

経緯及び本県の取組状況について

1 番組の概要

- (1) 番組名等 ETV特集「死亡退院 さらなる闇」(NHK教育)
- (2) 放送日時 令和6年6月29日(土) 午後11時から午後11時59分

2 経緯

番組中、本県の所管課へのインタビューの中で、次のようなやりとりがありました。

【放送時の内容(番組中13分15秒から)】

(●ナレーター ○神奈川県)

- 神奈川県として滝山病院の患者に会いに行かれたりとか、そういったことはあったんですか。
- 八王子にということですか。
- はい。
- それはないです。
- それはなぜなんですか。
- 東京都の病院ですので、県に立ち入りの権限とかはございませんので、そういう意味では、県の方で行くには病院の協力がないとできない部分があります。

これについては、下記のとおり、実際のインタビューでは、「去年の段階で、会いに行かれたりすることはあったんですか。」と時点を区切った質問であり、それに対して「それはない」と答えたものです。

【取材(インタビュー)時の内容】

(●インタビュアー、○神奈川県)

- 1回戻りますね。神精協に8月から頼んで、去年の段階で、会いに行かれたりすることはあったんですか。
- 八王子にということですか。
- はい。
- それはないです。
- それはなぜなんですか。
- 東京都の病院ですので、県に立ち入りの権限とかはございませんので、そういう意味では、県の方で行くには病院の協力がないとできない部分があります。

県では、令和5年11月から入院患者との面会に向けて、滝山病院に依頼を行っており、令和6年1月には滝山病院を訪問し入院患者と面会を行っています。

NHKにはこうした事実を事前に伝えていたにもかかわらず、結果的に「神奈川県は(現在に至るまで)病院訪問や患者面談を行っていない」という印象を与える内容になっていると考えています。

なお、放送終了後、この点をNHKに指摘するとともに、再放送にあたってはテロップ等で「神奈川県は病院に協力を依頼し、令和6年1月に患者を訪問している」という補足を入れていただくよう要望しましたが、NHKからは「番組は時系列で構成しており、昨年（令和5年）までの話として理解できるので、テロップ等の対応は行わない」との回答がありました。

県としては、視聴者の目線に立てば、「県の対応が昨年までのことで、それ以降は含まれていない」とは理解しがたいことや、テロップ等による補足を行っても番組の構成に影響は与えないものと考えており、神奈川県が病院訪問や入院患者との面会を行っているという事実が視聴者に正確に伝わらないことは、大変残念だと考えています。

県では、今後も引き続き患者の目線に立った、寄り添った支援を行ってまいります。

本県の取組状況

令和5年2月15日	NHKによりE T V特集「ルポ 死亡退院 ～精神医療・闇の実態～」が放映
令和5年7月24日	東京都より神奈川県へ転院調整依頼
令和5年11月～	東京都を介して滝山病院への訪問、神奈川県在住患者の状況確認等を行いたい旨を依頼
令和5年11月29日	滝山病院より本県在住患者の状況について情報提供（県による病院訪問は拒否）
令和5年12月25日	知事会見（滝山病院における本県在住患者の死亡について）
令和6年1月10日	県職員が滝山病院を訪問（病院幹部と面談し、患者との面会を依頼）
令和6年1月29日	県職員が滝山病院を訪問（県内在住患者と面会）
令和6年5月2日	県職員が滝山病院を訪問（県内在住患者と面会）
令和6年6月29日	E T V特集「死亡退院 さらに闇」放映